

自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	4 人	2 人	12 人

前回の改善計画
・利用者やその家族との関係性を築き、早く利用環境に慣れて頂くために職員の写真やプロフィールの作成を行い、利用開始時にお渡しする。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始時の不安な気持ちを理解し、特に初回利用時の関わり方を意識し対応できるようになったが、職員の写真やプロフィールを作成しお渡しすることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	4	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	2	4	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	6	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	4	3	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始時には本人との関係性を築く為に、訪問し自宅での環境を知る機会を増やした。
・職員会を活用し新規利用者の情報共有を図っている。
・利用開始前に利用者情報を閲覧し家族構成、生活歴、趣味、職業、病歴、内服状況を把握している。
・自宅環境等の情報は文書だけでなく、写真等で確認できるようにしている。
・初回利用は特に不安が大きいことを理解し、他の利用者との間に入って話しができるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用開始時に職員のプロフィールをお渡しできていない。
・自宅を訪問する機会が少なくご家族の不安や思いを直接聞くことができない。
・訪問時に、利用者やご家族から思いを聞くように心掛けているが、次の訪問等でゆっくりと話を聞くことができない。
・利用される中で知り得た情報をアップデートしたり、全職員が共有できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
利用者とその家族に早く職員の顔と名前を理解していただき、良好な関係づくりをするために、職員の写真付きのプロフィールを利用開始時にお渡しする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	8 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画
言語だけでなく、表情やしぐさから本人の「～したい」を感じ取り、個別の支援計画（企画）を実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果
失語症があり、思いを伝えにくい利用者の表情やしぐさから「～したい」を感じ取り対応できるようになってきた。
職員一人ひとりが担当利用者の「～したい」を具現化し計画立案することは十分にできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	7	2	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	7	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	9	3	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	5	5	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・園芸や家事等、今までの生活や趣味活動が継続できるよう支援している。
- ・担当利用者についてはケアプランを理解し目標達成に向け支援を実践し、日々の活動の中で他の職員に意見を求めたり指導してもらいながら関わっている。
- ・ケアプランの更新や変更があった場合、目標や支援内容を職員会や朝礼で周知している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・目標に対しては、日々の業務が優先となりゆっくり時間をかけて対応できないことがある。
- ・目標達成に向けて、スタッフ間の情報共有が不十分で業務中心となっている。
- ・ミーティングでの職員の発言が少なく、職員間で意識の差があるように感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

利用者や家族に対して意向調査（アンケート）を実施し、それぞれの意向に合わせた個別支援計画を作成し実践する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

3. 日常生活の支援

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	6 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	職員間でケアを統一するために動画や写真を使用して情報を共有することを継続するだけでなく、実際の介助方法を管理者及び介護リーダーで確認し、実践の中で指導する。
前回の改善計画に対する取組み結果	書面だけでなく写真や動画を活用しながら統一した介助方法の習得や、自宅の環境に合わせた居室の設定を行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	6	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	5	0	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	3	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4	0	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者の状態や応じて歯科医や言語聴覚士に相談し対応方法のアドバイスをもらい職員に周知している。・ケアを統一するため、申し送り帳や動画・写真を活用し情報共有することができている。・基礎的な介護技術の研修受講に加え、実践でも介助方法の指導をしてもらっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・本人の細やかな気持ちの変化に気付いても全職員と情報を共有することができていない。・以前の暮らし方について理解できていることもあるが、できていないことの方が多い。・情報を共有してほしいことが、全職員に確実に伝達できることが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者情報の共有については書面での申し送りだけでなく、写真や動画の活用を継続する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

4. 地域での暮らしの支援

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	24 時間 365 日の支援なので、事業所で支援している時間以外の過ごし方を理解するために、自宅環境の確認 (写真) するだけでなく、訪問記録を充実させ、情報共有を図る
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問をしない職員も自宅環境が理解できるように写真や動画を活用し共有を図ることができた。訪問記録については、全職員が十分に確認できているとはいえ、情報の共有不足が否めない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	3	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	3	3	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	0	6	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活継続のためにサービス利用していない時間をいかに安心して過ごせるか意識して支援している。 送迎時に会うご近所の方にも積極的に挨拶し地域との良好な関係を意識している。 地域の民生委員に挨拶に伺い、情報の提供や見守り等の依頼を行い支援体制が築けるようにしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員や地域資源について理解しきれていない。 訪問の機会が少ないため、自宅環境を自分の目で実際に確かめることができず理解できていないことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
訪問記録に限らず、ケース記録に必要な情報や記録の方法についての勉強会を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	日々の支援の中での変化に気付く観察力の強化と、地域の人、物、場所をしっかりとアセスメントし柔軟な支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	健康状態の変化について介護職員から看護職員に対する報告が増え、迅速かつ適切な対応が徐々にできるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	2	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	6	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	0	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・家族の体調不良（入院）などにより急な宿泊についても臨機応変に対応している。・近所の方や友人との繋がりが継続できるように働きかけている。・通いの迎えに行った際に、体調不良等で利用が中止になっても、時間を改め、訪問に切り替えてバイタル測定や配食等のサービス提供を柔軟に行っている。また、入浴についても体調に合わせて清拭や足浴に切り替えて対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者本人にとって地域資源が何か、職員間で共有できていない。・必要な資源やサービスについて自分自身からの発信ができていない。・地域資源についての知識が乏しく、上司やケアマネジャーの指示やアドバイスを聞くだけになっており自らの発信ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者本人の力、家族の介護力に応じて柔軟に「通い」「泊まり」「宿泊」サービスの提供を図るだけでなく、近隣住民や地域資源を活用した支援体制づくりを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

6. 連携・協働

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	5 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	感染対策を行い、可能な範囲で地域との交流を図ることで、事業所の周知と防災等の協力体制づくりを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	近隣事業所と合同で災害防災訓練を実施し、その中で感染対策にも繋がる予防衣 (PPE) の着脱訓練を実施するなど連携強化や協力体制づくりを進めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	1	2	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	0	1	9	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	4	1	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	2	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 地方祭で鷹子獅子舞保存会より獅子舞が来所するなど地域との繋がりが再開し始めた。・ 看取りケースでは医療機関や訪問看護との担当者会議に参加し、支援体制を整備することができた。・ 地域で定期的に認知症カフェを開催したり、他事業所と合同で防災訓練を実施した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 職員によってはサービス期間や自治体との会議に参加したり、イベントに参加することができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域活動が再開してきているため、GH 里山やオレンジハウスなど法人内の事業所との交流機会を増やすだけでなく、地域行事や地域作りに関する取り組み (イベント) に職員が順番に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

7. 運営

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	5 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	運営推進会議を活用し、地域ニーズを理解し、色々な面で協力し合える地域体制を整備する。(継続)
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルスが 5 類に移行してからは運営推進会議を集合開催できており、色々な地域の実情や情報を聞きながら、事業所の取り組みや活動を発信することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	2	6	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	1	5	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	3	3	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナウイルスも 5 類に移行し集合しての運営推進会議を開催し活動報告や意見交換をしながらメンバーと情報共有をしている。・ご家族からの苦情はどんな些細なことでも持ち帰り、上司に報告した上で苦情に対しての改善策を職員間で共有し対応している。・認知症カフェや認知症サポーター養成講座を開催し、地域住民に対して認知症の理解を図ると共に、認知症になっても地域で支えることができる体制作りに取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・運営推進会議など地域の方々に関わる業務に携わることができていない。・送迎時に衣類などの忘れ物があり苦情となることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日常の利用者支援だけでは地域の方々との交流する機会が多く持てないため、認知症カフェや合同防災訓練、運営推進会議には職員が順番に参加し意見交換を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

8. 質を向上するための取組み

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	2 人	4 人	12 人

前回の改善計画	認知症カフェや地域連絡会に職員は順番で参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	日常の業務に精一杯で、認知症カフェ等に参加する職員が限られ順番に参加することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	1	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	2	6	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	1	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	1	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">月に 1 回行っている職員会議で内部研修を定期的に行っている。転倒等の事故があった際には事故報告書を作成し、状況の確認と対策について職員間で協議した後、対応策を周知している。リスクマネジメント研修 (内部) を行い、リスクマネジメントに関する意識向上を図った。WEB を活用してスキルアップ研修を受講した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">日々の業務に追われ、ヒヤリハット報告書の提出率が低くなっている。コロナウイルスの影響もあり外部研修の参加はあまりできていない。経験は浅いが、スキルアップ研修や会議に積極的に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ヒヤリハット報告書を管理者と提出者で共有するだけでなく全職員に周知しながら未然に事故を予防しリスクマネジメント力の向上と底上げを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 10 日 (17:30 ~ 19:30)

9. 人権・プライバシー

参加人数 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	7 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画
利用者同士が安心して過ごせる環境の設定と平行して、一人ひとりのプライバシーを配慮した環境にも配慮する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者同士の関係性や認知症状等を勘案し安心して過ごしやすい席順や環境の設定を心掛けている。プライバシーについては職員間でも大きな意識の相違があり、声掛けや声のトーンによってはプライバシーの配慮不足を感じている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	8	4	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	1	2	4	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	2	0	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束委員会を 3 ヶ月に 1 回開催し、身体拘束が必要な事案がないか確認している。また、内部研修で身体拘束や虐待についての研修を行い防止に努めた。
・危険予測や利用者一人ひとりの行動を予測しながら対応を行っており身体拘束を行っていない。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・トイレ誘導時の声掛けでプライバシーの配慮にかけていたことがあった。
・利用者に対する声掛けの仕方や言葉使いによっては精神的な虐待に繋がる可能性がある。
・スタッフ間の会話が大きく、利用者に聞こえていることもあり配慮不足を感じることもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
特に排泄に関することについての声掛けや職員間の会話に職員一人ひとりが意識することで利用者のプライバシーを守っていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原 哲雄	法人・事業所の特徴	「共に支え 共につくり 共に暮らす」という法人の理念のもと、令和2年10月に松山市鷹子町に開設した事業所です。利用者とその家族の生活スタイルに合わせ、「訪問」サービスを効果的に活用し、「通い」「宿泊」のサービスを柔軟に調整することで、安心して自宅での生活が継続できるよう職員一同、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム里山	管理者	上山 晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	2人	1人	1人	12人	0人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員会（ミーティング）を活用しケアカンファレンスだけでなく、業務改善や取り組みについて意見を出し合い、職員一人ひとりがチームの一員であることを自覚できるようにする。	入浴やトイレ誘導の順番、休憩の入り方など普段から意見を出し合いながら対応した。利用者の状態変化や対応方法をアップデートできず全職員が情報を共有できていないことがあった。	・職員全員で取り組みを振り返り「できている点」「できていない点」について把握し今回の改善計画に反映できていると思う。	・サービスの質向上に向け、職員一人ひとりの専門性の向上と平行してチーム力強化を図りながら、働きやすい職場作りを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者だけでなく、家族や地域住民が相談に来やすいよう屋内外の環境整備を継続して行うと共に、玄関先に小規模多機能ホーム里山の看板を設置する。（利用者と共に看板を作成する）	・外玄関には手書きの看板を設置した。 ・内玄関には季節ごとの飾りを置いたり、陶芸の作品を置くなどして明るい雰囲気作りを行った。 ・音や匂いに配慮した環境作りを行った。	・事業所の入り口に看板がなく始めてくる人はわかりにくいのでは。 ・運営推進会議で来所はするが、感染対策の観点から事業所内をじっくり見たい事がないのでわかりにくい。	・音や匂いに配慮し季節を感じる事ができる環境づくりを行う。 ・運営推進会議等で来所された際に、事業所内を見てもらい環境についての意見を頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	・公民館活動や祭りなどの地域行事に参加し、事業所の周知、広報を行う。 ・利用者やご家族だけでなく、来所者及び事業所周辺を散歩している地域住民に対しても気持ちの良い挨拶を徹底する。（接遇研修を実施する）	・地域の運動会の応援に行ったり、地方祭では獅子舞や神輿に来てもらったりして交流することができた。夏祭りは雨で中止となり残念だった。 ・接遇研修を実施し利用者やその家族だけでなく散歩をしている地域住民にも挨拶を行い、声をかけてくださる近隣住民もいらっしやった。	・コロナウイルスも5類に変わり地域行事も少しずつ再開しだったので、利用者も職員も地域行事に参加してもらいたい。 ・接遇研修だけでなく色々な内部研修をされているのがよくわかります。	・地域行事に利用者と共に参加し事業所の周知、広報を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・認知症カフェや認知症サポーター養成講座を継続して実施し、地域住民に対して認知症の理解を促し、安心して過ごせる地域づくりを目指す。	・地域包括支援センターやGH里山の他、色々な地域の関係機関と協力して認知症カフェを開催し、認知症の当事者や家族の話しを聞いたり、専門職が講演することで地域住民が認知症を理解する機会を作ることができた。 ・一部の職員しか参加ができていなかったため、どのような活動をしているかわからない職員もいた。	・積極的に認知症カフェを開催されており今後も協力していきたい。 ・当事者やその家族もこういう機会があれば安心できると思う。 ・今後も継続してもらいたい。 ・利用者以外の近所の方の相談に乗っているのかは分からないので、もしそういう事案があるのであれば、運営推進会議等で報告してもらえればと思う。	・認知症カフェを継続して開催し、地域住民の認知症の理解促進、安心して過ごせる地域づくりを行う。 ・順番に職員が認知症カフェに参加し、地域との関係づくりに参加する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・コロナウイルスの感染状況を確認しながら運営推進会議の集合開催を行い、地域の課題共有と、認知症利用者等の見守り等の協力的体制づくりを行う。	・今年度の運営推進会議は6回も集合開催をすることができ、事業所の取り組みの報告、認知症利用者等の見守り等について話しをすることができた。 ・地域の課題（災害対策）について情報交換を行った。	・日々の活動や取り組みについての報告で利用者と共に色々な活動をしているのがよくわかります。 ・認知症利用者等の支援は大変だと思いますが、何か協力できることが言ってもらいたい。	・順番に職員が運営推進会議に参加し、意見交換を行うと共に、事業所の活動や取り組みを発信する。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・鷹子地区の医療機関、障害者及び介護サービス事業所との合同防災訓練を継続していくと共に、防災以外（感染対策）の協力体制の整備を行う。</p>	<p>・老人保健施設たかのご館、障がい者施設いちごの家、GH 里山と合同で防災避難訓練を実施した。仮設テントやトイレの設置、防護服の着用訓練、非常食の試食等を行った。また、令和5年7月に大雨で土砂災害の恐れがあった時には、GH 里山の利用者の一時避難場所として小規模里山の地域交流室を使用し、たかのご館と状況の確認を行った。</p>	<p>・事業所の防災避難訓練には参加していませんが、地域の事業所と合同でされているのは良い事だと思います。</p>	<p>・GH 里山と自主防災研修を実施すると共に、鷹子地区の医療機関、障がい者及び介護サービス事業所との合同防災訓練を継続する。</p>
----------------------------	---	--	---	--